

ゆなばり 市議会だより



RESTART
Challenge More.

64号 2024.8



夕張高校公開授業を視察 しました！

6月20日(木) 地域に向けた公開授業に合わせ、夕張高校を訪問させていただきました。

生徒と先生の意欲的なやり取りが印象的でした。

本年度の留学生を含む4年ぶりの入学者増となり

「なりたい自分になれる」環境づくりをさらに進めています。

第3回定例市議会の予定

9月10日(火)	初日	午前10時30分から
9月11日(水)	2日目	午前10時30分から
9月20日(金)	最終日	午前10時30分から

委員会の予定

9月3日(火)	行政常任委員会	午後1時30分から
9月18日(水)	決算審査特別委員会	午後1時30分から

※日程は変更になる場合がありますので、市議会ホームページでご確認ください。

子どもたちの移動手段に 一回百円でバス利用を

千葉 子どもの居場所づくりの具体的な取り組みについて。

市長 本市では、子どもの居場所として放課後児童クラブとリサすたクラブがある。子どもの居場所づくりの推進は、安全性・利便性・継続性に優れた「リサすた」を核として、事業をさらに充実し、継続して行く。

千葉 遊具を含めた都市公園以外の公園新設計画と統廃合計画の検討状況について。

市長 「夕張市緑・公園づくり基本構想」で、都市公園をはじめ、市内の公園全体の統廃合の方針を示している。今年度、各公園の担当課で廃止・新設に伴う課題、財源対策、具体的な公園の統廃合時期等について検討し、今後、策定を予定している公園整備計画等でお示ししたい。

千葉 緑の基本計画の公園再編の方針で紅葉山遊園が廃止される方針である。夕張市コンパクトシティ構想では「道の駅と一体的に公園整備を進める計画」がある。道の駅と一体的に公園整備を進める計画なので児童遊園を廃止する考えについて。



千葉 勝



市長 紅葉山児童遊園の廃止は、利便性・遊具の老朽化、利用状況等を踏まえ、将来的に廃止する方向で検討を進めるが、廃止するだけではなく、代替え施設として紅葉山地区における公園の必要性・利便性・規模等を十分に調査・研究を行っていく。

千葉 子どもの居場所の一つに位置づけられている、子ども食堂の現状について。

市長 本市では、令和5年度、令和6年度とも、ボランティアの支援の下、実行委員会形式により実施していることから、今後とも運営者と連携していきたい。

千葉 2月の子ども模擬議会で「子どもたちが夕張市内を移動できるように一回百円でバスに乗りできるような市内循環バスを運行してほしい」との要望意見が出された。

敬老パスのように一回百円で子どもたちもバスを利用できるようにすると休日になりすたや文化スポーツセンターに行くことができると考える。実現に向けて検討をお願いする。

・一日一便でもデマンド交通で
札幌方面への直通便を！
・シルバー人材センター解散後の
会員と利用者への環境整備を！

櫻井 高速ゆうばり号廃止を受けて、代替となる交通手段をどのように検討されているのか？

市長 市民からの要望を受け、南部・真谷地地区との接続など改善を図ってきた。代替となる交通手段は、デマンド交通を基本としてダイヤ調整などを協議中。広報ゆうばり9月号で市民に周知できるよう取り組む。

櫻井 デマンド交通の当日予約を求める市民の声から、前日に予約が入っているルートがある時だけでも、その区間内の当日予約を受けることはできないか？

市長 当日予約を認めることで運行スケジュールに大きな影響があり、できない。

櫻井 一日一便でもデマンド交通で札幌方面への直通便を設定できないか？

市長 現時点では札幌までの直通便は、見込みが立たないが利便性向上に努める。

櫻井 利便性向上を図るとの答弁から、直通便について可能性は0ではないと理解してよいのか？

市長 そのような対応が可能か、引き続き利便性向上が図られるよう検討を続ける。



櫻井 暁



櫻井 シルバー人材センター解散にいたる背景と理由についてどのように捉えていたのか？

市長 市として補助金の交付や優先発注など支援してきたが、会員数の減少により国の補助金が非該当になることから、経営困難、解散と決定した。

櫻井 福祉除雪・消火栓除雪などの事業をどう継続していくのか？

市長 解散後の令和7年度の事業実施に向け市内の事業所と協議を進める。

櫻井 市長は「安心安全な市民生活の維持」を公約に掲げる中で、解散後の会員と利用者に対してどのような対策をお考えなのか？

市長 会員へは、直接雇用や市内事業所での就労を想定し商工会やハローワークとも連携して雇用対策を実施する。利用者へはシルバー人材センターの対応状況を確認しながら対処していく。

櫻井 収入の低い会員の雇用対策について具体的にどのような取り組みをする予定なのか？

市長 今後の意向を把握するためのアンケート調査を実施し、個々の状況に応じてどのような対策が必要なのか検討したい。

夕張市の観光推進について

徳谷 観光資源を最大限に生かす観光推進体制の構築について、これまでも観光推進体制の構築には取り組まれてきていると認識しているが、細分化し方向性も異なっている観光関係団体との協議をどのような形で進めるつもりなのか伺う。

市長 観光推進体制の構築に向けて、観光関係団体との協議においては、情報と課題の共有を図ることを目的に担当課において、随時ヒアリングを実施している。

観光関係団体及び市内関係事業者を対象とした意見交換の場を設け、皆様からの課題の収集と共有を行い、同じ目標に向かう環境を構築するところから実施してまいりたいと考えている。



徳谷 康憲



徳谷 企業や市民団体が開催する誘客につながる活動では、財政面や人材面での課題を抱えながら何とか活動しているというのが実態。民間の活動に対する支援について、市長はどのようにお考えなのか伺う。

市長 市が実施主体となる観光事業は実施していない状況ではあるが、現在、企業や市民団体が実施主体となり、来場者が多く見込まれる催し等については、市の後援、協力の一環として、担当課での連絡調整業務など、できる範囲での協力を実施している。

民間の活動に対する支援については、関係団体や事業者の皆様からの要望をお伺いするため、意見交換の場を設けることを検討してまいりたいと考えている。

持続可能な経済の

体制作りのための居住誘導を 第14次夕張市農業振興計画の 進捗について

工藤 居住誘導区域に地域再編地区の住民が転居できる仕組みが必要では。

市長 移転誘導について、市営住宅については、「夕張市営住宅長寿命化計画」に基づき居住誘導区域へ移転交渉を行っている。また、一戸建ての住宅の転居については、余裕がある分譲地があるので、相談いただきたい。

工藤 受け入れ可能な住戸が少なければ移転誘導が進まないのでは。

市長 現在、市民からの要望の多い清水沢、紅葉山地区での市営住宅の空き戸数が不足している状況。今後の人口推移、年齢層等を考慮し、受け入れ住戸の確保、必要戸数等を検討したうえで、居住誘導を促進させたいと考えている。

工藤 移転誘導、労働力確保・子育て世帯への移住促進策として分譲地購入に優遇措置を検討してはいかがか。

市長 財政再生団体になって以降、売買が少ない状況にあり、その上で、さらなる検討が必要と考えている。

工藤 地域再編地区住民の転居に関する相談フォロー体制が必要ではないか。

市長 必要であると認識しており、各課で随時相談可能な状況である。



工藤 政則



工藤 居住誘導区域の魅力向上に民間商業施設の誘致が必要では。

市長 居住誘導区域への移転誘導施策と合せて調査研究を行ってまいりたい。

工藤 庁舎の移転が計画されており、この期に積極的な居住誘導と商業施設誘致が必要と考えるが市長の見解は。

市長 市庁舎移転はまちづくりの大きなタイミングであると認識している。引き続き調査研究を行ってまいりたいと考えている。

工藤 農業の担い手確保について進捗状況を伺う。

市長 農業振興協議会の地域創生部会において有期雇用を含めた担い手確保についての協議がなされ引き続き情報交換や議論を重ねてまいりたい。

工藤 農業雇用労働力確保の観点から就労環境整備について考えを伺う。

市長 住環境の整備の支援を行っている。今年度は旧滝の上生活館の改修整備を支援することとしている。

工藤 今後の就労環境整備について考えを伺う。

市長 生産者や農業関係機関と連携し考えてまいりたい。

住民のための

より良い公共交通の 再構築をめざして

高間 市外線デマンドの利用で夕張から札幌までの片道所要時間は、3時間が必要だが、JR北広島駅まで延長をすると、札幌行きのJRは、5分から10分間隔であるため、便利さを増す。市外線デマンドを長沼から北広島駅まで延長すると15分程度であり、協力をいただいている交通事業者も可能であると返答を頂いているが、市長の考えを伺う。

市長 どのようにしたら可能になるのか利便性向上に向けた検討をしている。

高間 市内唯一のJR石勝線新夕張駅から札幌間の利用をしやすくするため、鉄道やバス等の連携について伺う。

市長 JR石勝線や路線バスのダイヤ改正時には、連携を図り調整を行っている。

高間 JR石勝線、路線バスの時刻表を調べた結果、乗り継ぎの良い便があり、「夕張市民特急券代用証」の発行で特急料金が免除になる。これらの市民周知をすべきと思うが市長の考えを伺う。

市長 今後の対応について、しっかりと検討をしていく。



高間 澄子



高間 市民の路線バスの1日乗車平均は、バス1本に対し5〜6人であり、車両の小型化を検討すべきと思うが、市長の考えを伺う。

市長 全ての車両を小型化することは、難しいが、持続可能な交通体制の維持に何が有効か交通事業者と情報交換をしていく。

高間 大型バスの必要な時間帯は、朝の児童の登校時であり、今後の児童数の減少を考えると全ての路線で大型バスを運行することは、大きな赤字の補填につながるのでは。

市長 バスの規格について検討した経緯があり、経費としては変わらないという判断に至ったが、様々な面から車両の小型化が有効であるかを交通事業者と協議をしていきたい。

高間 夕張市石勝線代替輸送確保基金の運用計画について伺う。

市長 条例に基づき、車両の確保、南北線運行補助、バス運賃差額緩和措置等に充てることとし、事業の実施に応じて取崩しを行っている。

高間 代替輸送確保基金も含めた助成金が交付されており、需要に見合った交通体制の構築と持続可能な体系の維持を図っていただきたい。

行政視察報告

夕張市老人福祉会館



浴場が終了になり、健康増進の場として新しい機器を導入した老人福祉会館を視察し、実際に体験してま

いりました。難しくなく、老若男女問わず楽しめます。ぜひ利用してみてください。

道央廃棄物処理組合焼却施設



本市におけるごみの埋め立て問題について勉強するため、千歳市のごみ焼却施設に視察研修してまいりました。

施設内も見学し、ごみが搬入されてから処理されるまでの流れを見学し、ごみ処理について理解を深めることができました。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤	政則
副委員長	櫻井	暁
委員	徳谷	康憲
委員	荒井	周司
委員	君島	孝夫
委員	千葉	勝
委員	高間	澄子

夕張市議会の情報はこちら



夕張市議会
ホームページ



夕張市議会
YouTube チャンネル